

東由利村報

No. 69

37・11・1

発行所 秋田県東由利村役場
印刷所 株式会社 本間印刷所

11月3日・村功労者を表彰

故小松秀三郎氏など五氏

「菊花かおる」といわれる十一月三日の文化の日に、本村の発展向上につくされた功労者の表彰式と村自治につくされた人に自治功労章の贈呈式が役場で行われる。

村功労者の表彰は産業、経済、政治、学芸その他社会文化の進展と村民福祉の増進に貢献し、かつ村民が郷土の誇りとして尊敬できる人の功績を永久にたたえようとするもの。また自治功

故小松秀三郎氏



明治五年
生、昭和
十二年死
去（館合
出身）明

治三十七年玉米村長となり以来六期二十一年間を地方自治発展に捧げ、その間とくに植林事業に意を注がれ村有財産の造成や官行造林の設定につくされた。

遺族・小松忠亮氏

故梅津栄吉氏



明治四年
生、昭和
五年死去
（大琴出
身）明治

四十年下郷村議会議員、大正七

佐藤玉治氏に自治功労章

村功労者として表彰される人は別掲の五氏で、自治功労章の贈呈は玉米村収入役として十年間在職された佐藤玉治氏（館合、58歳）に行われる。

年同村長となり十有余年を地方自治発展に捧げ、その間とくに官行造林の設定につくされた。

遺族・梅津二三雄氏

佐藤政治氏



東京都豊
島区雑司
谷町四の
六五七、
60歳（新

第2の基幹線へ改良促進

老方・沼館線県道認定祝賀会

老方・沼館線が新しく県道となつたのでその祝賀会が十月二十二日、雄物川町と共催で沼館小

学校で挙行了した。

新県道は旧横荘線の鉄道路地を主幹とし、両町村道の一部を含む一五・五キロメートルで、これが自動車道として整備され既設の横手・雄物川線と直結すると、大船渡・本荘線より約八、〇〇〇メートル短縮されて本荘と横手を結ぶ第二の基幹線となるほか、山間沿線地帯の産業開発にも重要な役割を果すものと期待されている。

祝賀会には佐々木雄物川町長、阿部村長のあいさつ、前島土木部長、笹山前代議士らの祝辞があり、参会した両町村関係者全員が喜びのうちに、さらに改良整備の促進に力をつくしていくことを誓いあった。

【写真は老方・沼館線の県道認定祝賀会】

税務事務の共同処理

38年度から由利郡で

来年度
から由
利郡10

カ町村で税務事務の共同処理センターを設け税務事務の一部を共同で処理し徴税費の節減をはかろうとする事業が計画されており、全国でもはじめての例として注目されている。税務は事務量が多く、これを大きく分けると所得・資産の調査や評価など「比較的判定を多く必要とする事務」と、計算、帳簿の作成や転記、令書作成など「比較的単純で機械的な作業事務」の二つに分類されるが、この機械的な一連の作業事務は町村が共同出資して機械を購入し、この機械によつて短時間でしかも正確に処理しようというのである。なおこれは10カ町村で協議会をつくり、事務所を郡町村会館に置いて事業がすすめられる

佐藤与一郎氏



館合、77
歳。玉米
村議会議
員十六年
また同産

業組合長として二十余年間歴任

小笠原彦次氏



蔵新田、
68歳。本
村農業振
興に意を
注ぎ、と

くに本村ではもつとも困難とされてきた甘藷の栽培と貯蔵方法を研究され、この結果を村内に指導普及されるなど畑作技術の改善につくされた。

今年の早場売渡米 4万2千俵

本年産米の売渡し状況は早場期間末の十月三十一日現在で総数四二、三三七俵、全予約量の六六パーセントの進捗率で、昨年同期の九二パーセントからすると減収と穫り入れ期の悪天候にわさわいされて問題なく少ない数字である。

37年産米売渡状況 (10月31日現在)

農協	売渡	量（予約量）	割合
玉米	16.350	28.351	58
老方	8.695	11.090	78
中央	10.777	14.112	76
下郷	6.515	10.443	62
合計	42.337	63.996	66

11月5日から15日間 選挙人名簿の縦覧

毎年9月15日現在でつくりかえられる基本選挙人名簿が11月5日から19日まで役場で縦覧に供される。来年は地方選挙の年ともいわれ、知事県議会議員・村長などの選挙が行われるので名簿に登録もれとなつて貴重な一票を無にすることのないよう、縦覧期間中に必ず名簿で自分の名前をたしかめよう。

公明選挙強調期間

選挙人の政治・選挙への関心をたかめ政治常識や、選挙道義の向上をはかるため11月5日から30日まで公明選挙強調期間を設け、来春の統一地方選挙の公明化を目標にいろいろ運動が展開される。ラジオ・テレビによる特集番組や新聞などを通じて啓発が行われるのでよく見、よく聞き、選挙と政治への関心をたかめよう。



公明選挙は一家の話しあいから
司会はバスガイドのお姉さん

大曲・矢島線の県道認定

県議会で議決される



10月6日、大曲・矢島線の实地踏査
を行う県議会土木委員の一行

栗駒・鳥海の観光周遊コースとなるので存在価値がますますたかくなることが期待される。わけても本村にとつては、これで主要路線がすべて国県道となり、道路整備計画の基幹が出来上がることに上るので、その実現が一日も早いことをいのりしたい。

20日「ひまわり号」訪れる
希望者一六〇人の胃部検診
このところ脳卒中・ガン・心臓

病など、いわゆる成人病による死亡が増え、とくに秋田県では昨年の場合死亡総数のうち脳卒中三一・三％、ガン一三・三％これに心臓病を加えると全体の五八％に及び、東北のうちでもとくに高血圧とガン地帯として注目されている。県ではこの成人病対策に本腰を入れ、その一つ、ガン対策として胃部検診を主体とした集団検

保護世帯の子ども たちへ衣類

東京中野にお住いの久保田千代さん（館合出身）から「オサガリですがお役に立てば」といって、子ども用を主にした衣服、クツ下など一六〇点を村社会福祉協議会へ届けられた。

「かつて私も苦しいときがありましたし、苦しいときはお互いさま……。そしてこれは

私のほかに三人の奥さんたちからご協力いただいたもの」とのこと、社会福祉協議会では真心こもったこの贈り物を保護世帯に配分し、大変感謝された。

【写真（上）はドッサリ届いた衣服の山】

下郷中学校へ野球

ユニホーム

ミッポシの畠山社長から、こんどは下郷中学校へ野球ユニホーム二十着が贈られた。畠山社長はかねて音楽とスポーツを大切に考えておられ、先に老方小学校へ鼓笛をおくり、この度はユニホームの贈り物となつたもの。学校野球部では、これを着用してよい成績を上げ、杜長の期待にもりつばに迎えよう到来年のシーズンを今から待っている。

【写真（下）はさつそくユニホームを着用して大喜びの野球部員】

プレゼント・話題2つ

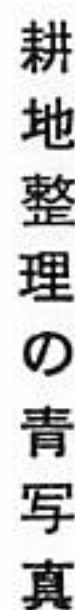
村道法内線を経由して本荘・大曲線に結ぶ路線の県道認定について、かねて本村は大曲・大森・矢島・南外・大内の五市町村と手を結んで運動を続けてきたが去る十月九日の県議会で認定が万場一致で議決され、建設大臣の認定を待つのみとなつたので見とおしはひじょうに明るくなった。これが実現すると沿線地帯の開発はもちろん、県南部を日本海岸と岩手県側を斜めに結んで、しかも秋田県でただ一つの例といわれる国・県道三本を縦断する重要路線となり、また



市場は新しい郡畜連で開設

家畜の生産から流通まで生産者の団体が一体化して担当していくべきであるとして、県経済連が由利郡内の家畜市場開設を県に申請してきたところ、この問題が大きく発展して永年くすぶり続けてきた県内の畜産関係団体の整備統合をうながし、また市場開設はこの整備方針によつて新しくつくられる郡畜産連合会で行われることになった。

々という要望にもとずいて県経済連が由利郡の家畜市場開設を県に申請し、関係農協、町村も一致してこれを支持し県に働きかけてきたが、この申請を受けた県では畜産関係団体間の一部事業内容の移譲など部分的な改革ではさらに問題が複雑化し、混乱をまねくものとして、これを機会に以前から懸案となつてきた県内畜産団体の整備統合という基本的な問題を解決し、あわせて担当事業なども明確にして市場問題もこれに含めて解決されることになつた。



タへ
ー
ルク

①畜産関係団体は指導奨励事業、奨励事業を行うほかに、家畜市場と経済事業団体の二本建てと場を開設する。

濟事業を担当する。

②この態勢への過程として郡市の区域内にある総合農協と畜産農協で郡畜連を組織し、県畜産指導連の下部機関として指導

要旨

に、総合事務局を設けて指導事業の有機的連けいをはかる。

④この実現は各団体の定期総会が全部終了する明年五月末日を最終目途とし、この方針促進のために別に実行委員会を設ける。

佐藤さんは早くから乳牛の多頭飼育をとり入れているが、さらに頭数をふやしていくため必要になつたものでこの側には十五頭分の畜舎が建てられる。

これに溜つた尿は水田や草地に環元されて購入肥料も少なくなるし、ペゴは太るしで、

佐藤さんの夢はこの尿溜めのように大きい。

はそれぞれの農協が加入してつ
くられる郡畜連によつて行われ
るので生産者の意志も十分反映
されることが期待され、さらに
この市場問題が発端となつて畜
産団体の整備統合という大きな

問題も一挙に解決され、成長産業としてますます比重を加えてきた畜産も農業構造改善事業と結びついていつそう発展できる強力な組織基盤ができることになった。

これも生産者の結束した力が梃はじめ大きな団体をゆり動かし、た結果にほかならず、さらにこれが実行に移され、実際に自分たちのものになるよう見守り、今後とも力をつくしていきたいものである。

予約数量の減額補正
申請・11月19日まで

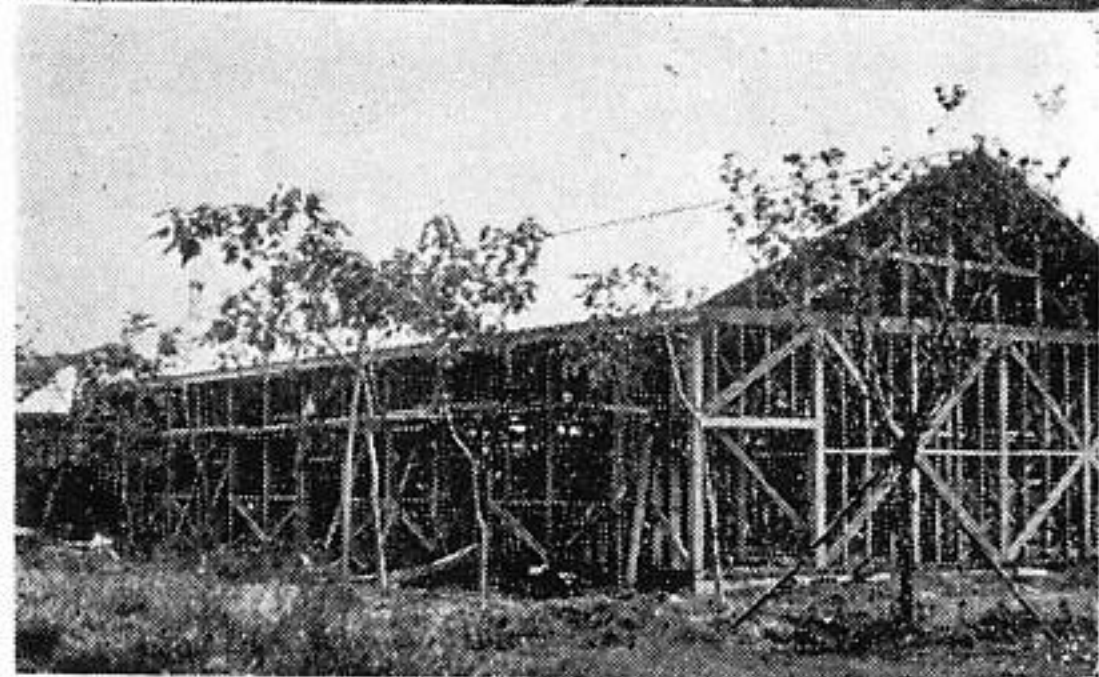
本年産米の予約数量の全部または一部の売渡しが困難となり、減額補正を必要とする農家は、十一月十九日まで関係農協と連絡をとつて申請されること。

種痘の日程

種痘の接種が行われる。該当者は①本年一月一日より六月三十日まで生れたもの②春季の未了者、不完全者③来春小学校に入学するもの④同じく小学校を卒業するものとなつており、日程は次のとおり（カッコ内は検診日で時間はいずれも午後一時半から三時まで）

【写真は耕地整理調査設計の測量作業】

11月16日(22日) 住吉小
11月15日(22日) 法内小
11月14日(21日) 蔵・玉米小
11月13日(20日) 宿・老方小



水稻損害評価データより

ならないもの

教十年前から小作しており、キ

ます。

△農業委員会▽

地は返さなければならぬもの

△農業委員会▽